

27.

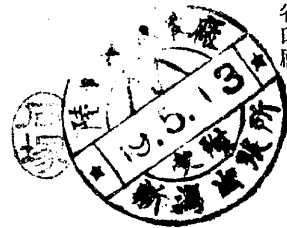
4310



陸達第二十七號

軍鳩管理規則

昭和十九年四月陸軍省印刷



0138

陸達第二十七號

軍鳩管理規則本冊ノ通制定ス

昭和十九年四月六日

陸軍大臣 東條英機

6810

目次

第一章 總則	一頁
第二章 保管	二
第三章 補充	三
第四章 除役	四
第五章 生産、育成及購買	五
第六章 報告、通報	五
第七章 検査	六
第八章 軍鳩ノ標識	六
第九章 軍鳩名簿	七
第十章 雜則	七
第十一章 附則	八

# 軍鳩管理規則

## 第一章 總 則

第一條 本規則ハ各部隊ニ於ケル軍鳩管理ニ必要ナル事項ヲ規定ス

第二條 本規則ニ於テ部隊ト稱スルハ軍隊、官衙、學校及特務機關ノ總稱トシ所管長官ト稱スルハ師團長及之ト同等以上ノ權アル長官並陸軍大臣直轄ノ部隊長ヲ、部隊長ト稱スルハ特ニ示ス場合ノ外所管長官隸下各部隊ノ長ヲ總稱ス

第三條 本規則ニ於テ軍鳩ト稱スルハ軍用ニ供スル爲陸軍諸部隊ニ保管飼養スル左ニ掲グルモノヲ謂フ

一 部隊鳩 陸軍通信學校及鳩育成所以外ノ部隊ニ於テ保管スル定數内ノモノヲ謂フ

二 育成鳩 陸軍通信學校及鳩育成所ニ於テ保管スル定數内ノモノヲ謂フ

三 豫備鳩 各部隊ニ於ケル過剩鳩(定數ニ對シ過數トナルヘキ鳩)中尙軍役ニ堪フルモノヲ謂フ

第四條 軍鳩ヲ分テ通信鳩及種鳩(軍鳩ノ蕃殖ニ用フルモノヲ謂フ)トシ通信鳩ノ用役左ノ如シ

一 固定鳩 固定セル鳩舎ニ飼養シ片道通信ニ用フルモノヲ謂フ

二 往復鳩 二鳩舎間ノ往復通信ニ用フルモノヲ謂フ

三 移動鳩 移動スル鳩舎ニ飼養シ片道通信ニ用フルモノヲ謂フ

四 夜間鳩 夜間ノ通信ニ用フルモノヲ謂フ

第五條 軍鳩ハ左ノ各號ノ資格ヲ具備スルヲ要ス但シ特種ノ目的ヲ有スルモノ又ハ戰時等ニ於テ補充上已ムヲ得サル  
トキハ本條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

一 鳩體各部ノ對稱宜シキヲ得體格中庸ニシテ成鳩(生後一年以上ノモノヲ謂フ)ハ體重概ネ四百二十瓦乃至四百六十瓦ヲ有シ體質強健筋骨翼羽能ク發育シテ強ク性質溫順伶俐ニシテ各用役ニ應スル通信能力ニ富ミ所定ノ金屬製脚環ヲ裝スルコト

二 年齡(生後滿ヲ以テ算フ)概ネ一月以上タルコト但シ種鳩ニ在リテハ三乃至六歲タルコト

三 羽色ハ目立チ易キ白色ヲ混セサルコト

## 第二章 保 管

第六條 各部隊ニ於ケル軍鳩ノ定數ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第七條 豫備鳩ノ取扱ハ部隊鳩ニ準スルモノトス

第八條 部隊長ハ過剩鳩中軍用ニ堪ユルモノヲ選定シ定數ノ概ネ二分ノ一以內ヲ定數外トシテ飼養スルコトヲ得但シ之ニ要スル經費ハ令達豫算內ニ於テ支辨スルモノトス

第九條 所管長官ハ必要ニ應シ所管內各部隊ノ軍鳩ヲ彼此交換セシメ或ハ豫備鳩ヲ保管轉換セシムルコトヲ得

第十條 軍鳩ハ兵ヲシテ取扱ハシムルヲ本則トス但シ特ニ必要ナル部隊ハ軍鳩手(雇員又ハ傭人)ヲシテ取扱ハシムルヲコトヲ得

### 第三章 補 充

第十一條 部隊鳩ハ通常毎年育成鳩ヲ以テ補充スルヲ本則トス、但シ育成鳩不足ノ場合又ハ特ニ必要アルトキハ他部隊ノ豫備鳩・購買鳩、時トシテ獻納鳩等ヲ以テ補充スルコトヲ得

第十二條 軍鳩ノ補充ハ陸軍大臣ニ於テ陸軍通信學校長ヲシテ實施セシムルヲ通常トス

第十三條 軍鳩ノ補充ハ大本營直屬軍及陸軍大臣直轄部隊ニ對シ之ヲ行フ但シ學校ニ對シテハ直接之ヲ行フ

第十四條 前條部隊長ハ所管内各部隊ニ對スル定期補充ヲ要スル所要用役別鳩數ヲ各直轄部隊毎ニ區分シ毎年十二月三十一日迄ニ陸軍大臣ニ報告(通報)スルモノトス

陸軍大臣ハ定期補充鳩數ヲ定メ毎年補充時期概ネ二月前ニ之ヲ被補充部隊長ニ達(通報)スルト共ニ陸軍通信學校長ニ達ス

第十五條 部隊鳩ニ對スル定期ノ補充率ハ毎年定數ノ概ネ二分ノ一以内トス

第十六條 軍鳩ノ定數ニ缺數ヲ生シタルトキハ當該部隊長ハ豫備鳩ヲ以テ補充シ尙定數ニ滿タスシテ他ニ補充ノ途ヲ

キトキハ臨時之ヲ陸軍大臣ニ報告(通報)スルモノトス

軍鳩ノ臨時補充ノ要領ハ定期補充ニ準ス

第十七條 部隊鳩補充ノ時期ハ毎年概ネ六月乃至十二月トス但シ特ニ必要アルトキハ陸軍通信學校長ハ關係部隊長ト協

議ノ上交付時期ヲ適宜變更スルコトヲ得

第十八條 補充鳩ノ交付地ハ概ネ左ノ各號ニ依ル

一 内地部隊(朝鮮、臺灣ヲ含ム)ニ對シテハ陸軍通信學校

二 管區内ニ鳩育成所ヲ有スル部隊ニ對シテハ當該鳩育成所

三 其ノ他ノ部隊ニ對シテハ補充ヲ受クル部隊ノ揚陸地

前項ノ交付地ハ特ニ必要アルトキハ陸軍通信學校長ハ關係部隊長ト協議ノ上適宜變更スルコトヲ得

第十九條 軍鳩補充ノ爲前條交付地迄ノ輸送ハ陸軍通信學校、交付地ヨリ被補充部隊迄ノ輸送ハ被補充部隊ノ擔任

トス

第二十條 軍鳩用器材ノ補給要領ハ第十二乃至第十四、第十六各條ニ準ス

第二十一條 作戰地ニ對スル補充(補給)ノ要領ハ戰時補充令ニ依ルモ成ルヘク前諸條ヲ準用スルモノトス

### 第四章 除 役

第二十二條 部隊長ハ過剩鳩中軍役ニ堪ヘサルモノ及第八條ノ定數外ヲ更ニ超過スルモノヲ適時除役處分ヲ爲ス但シ

失踪鳩(通信訓練ニ於テ七日以内ニ鳩舎ニ歸還セサルモノヲ謂フ)ハ失踪決定ノ月末ニ於テ除役處分ヲ爲スモノト

ス

第二十三條 前條ニ依リ除役セル軍鳩ハ各部隊ニ於テ賣却等適宜處分スルモノトス但シ除役鳩ノ處分ニ際シテハ敵手

ニ入り又ハ之ニ利用セラレサル如ク注意スルヲ要ス

第二十四條 部隊長ハ所管長官ノ認可ヲ受ケ豫備鳩ヲ試験研究ノ爲使用スルコトヲ得但シ此ノ際要スレハ除役處分ヲ

ナスモノトス

## 第五章 生産、育生及購買

第二十五條 軍鳩ノ生産ハ陸軍通信學校及鳩育成所ニ於テ實施スルヲ本則トス但シ其ノ他ノ部隊ニ於テ特ニ生産ヲ必要トスルトキハ通信ニ支障ナキ限り所管長官ノ認可ヲ受ケ自隊ニ於テ生産スルコトヲ得

第二十六條 軍鳩一羽ニ對スル飼料日量ノ標準左ノ如シ

白豌豆三十瓦、玉蜀黍十五瓦、麻實五瓦、屑米五瓦、青菜五瓦、牡蠣末三瓦、鹽土二瓦

必要ニ應シ代用品ヲ給シ又ハ右數量ヲ適宜變更スルコトヲ得

第二十七條 種鳩ハ各用役區分毎ニ設ケ二年以上當該用役ニ服シタルモノノ中ヨリ選定スルヲ本則トス但シ已ムヲ得サル場合ハ他ノ用役ノモノヨリ種鳩ヲ選定スルコトヲ得

第二十八條 軍鳩ノ購買ハ軍ニ於テ公認セル軍用鳩公共團體ニ屬スル鳩ニシテ所定ノ脚環及鳩名簿ヲ有スルモノニ對シテ之ヲ行フモノトス

第二十九條 軍鳩ノ購買ハ通常陸軍通信學校及鳩育成所ニ於テ之ヲ行フ、但シ特ニ必要アルトキハ其ノ購買ヲ他ノ部隊ニ委託スルコトヲ得

第三十條 部隊長ハ所管長官ノ認可ヲ受ケ軍鳩ノ獻納ヲ受クルコトヲ得  
獻納鳩ノ受理ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

## 第六章 報告、通報



第三十一條 所管長官ハ毎年六月、十二月末日調ノ軍鳩現況報告(様式ハ附表第一ニ依ル)ヲ陸軍大臣ニ提出スルト共

ニ陸軍通信學校長ニ通報スルモノトス

第三十二條 陸軍通信學校長ハ毎年三月三十一日迄ニ新年度ニ於ケル軍鳩ノ補充、蕃殖、育成及購買計畫ヲ、四月三

十日迄ニ前年度ニ於ケル其ノ實施ノ成績ヲ陸軍大臣ニ提出スルモノトス

第三十三條 陸軍通信學校長ハ概ネ補充二月前ニ交付スヘキ鳩數、期日、場所、所要人員及其他必要事項ヲ關係部長ニ通報スルモノトス

## 第七章 檢 査

第三十四條 所管長官ハ適時所管部隊保管鳩ノ檢査ヲ行フモノトス

但シ所管長官ハ其ノ命スル者ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第三十五條 陸軍通信學校長ハ臨時各部保管鳩ノ狀況ヲ視察シ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第三十六條 陸軍大臣ハ臨時必要ニ應シ檢査官ヲ命シ各部隊ノ軍鳩ニ付檢査ヲ行ハシム

## 第八章 軍鳩ノ標識

第三十七條 軍鳩ニハ星章、生産部隊號(秘匿番號)、生年號及軍鳩番號ヲ刻セル脚環ヲ左脚ニ嵌裝ス軍鳩番號ハ各生

産部隊ニ於テ毎年當該部隊ノ全鳩ヲ通シ一連番號ヲ附スルモノトス

第三十八條 脚環ハ金屬製ニシテ高サ九耗、内徑八、六耗ヲ有シ繼目無キモノトシ生後第七日目ニ通常其ノ左脚跗蹠ニ

立姿ニ於テ刻字逆ニナル如ク裝著スルモノトス  
脚環標識並裝著要領ハ附録第一ニ依ル

### 第九章 軍鳩名簿

第三十九條 軍鳩ニハ各軍鳩名簿ヲ備フルモノトス

軍鳩名簿ノ様式ハ附表第二ニ依ル

第四十條 軍鳩名簿ハ脚環裝著時之ヲ調製シ該鳩ヲ保管スル部隊ニ於テ保管スルモノトス

軍鳩ノ所屬ヲ變更シタルトキハ其ノ軍鳩名簿ヲ新所屬部隊ニ送付スルモノトス

第四十一條 軍鳩名簿ハ生産部隊ニ於テ之ヲ調製ス但シ陸軍部外ヨリ軍ノ所屬トナリタル軍鳩ニ在リテハ當該鳩名簿

ニ所要ノ補修ヲ爲スモノトス

第四十二條 軍鳩名簿ハ除役又ハ斃死後一年間之ヲ保管シオクモノトス

第四十三條 鳩體外貌ノ名稱、羽色、特徴及損傷ノ記載ニ付テハ附録第二乃至第五ニ依ル

### 第十章 雜 則

第四十四條 軍鳩ノ傳染病豫防ニ付テハ別ニ定ムル所ニ依ル

第四十五條 所管長官ハ本規則ニ基キ所管軍鳩管理ノ爲所要ノ事項ヲ規定スルモノトス

0147

第十一章 附 則

本達ハ昭和十九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附表第一

昭和何年何月末日  
軍鳩現況報告

第何軍

一、保管數

合計	所成育鳩軍何	團師何第	號除部		定	前	增	減	現	在	數	病	過	定	年	齡
			分	區												
			數	場	數	告	生	入	還	計	除	計	場	鳩	滿	上
			數	舍	遊	報	入	入	還	計	失	計	鳩	備	未	以
			數	所	入	報	入	入	還	計	死	計	鳩	不	六	六
			伐	信	計	報	入	入	還	計	轉	計	鳩	不	六	六
			討	通	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			戰	一	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			作	對	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			(務業)備警	百	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			練訓鳩軍	通	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			所信通	信	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			數信通	對	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			數信通對	羽	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			大	最	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			小	最	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			均	平	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			大	最	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			小	最	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			均	平	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			摘		計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			要		計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六

二、通信實施狀況

合計	所成育鳩軍何	團師何第	號除部		定	前	增	減	現	在	數	病	過	定	年	齡
			分	區												
			數	場	數	告	生	入	還	計	除	計	場	鳩	滿	上
			數	舍	遊	報	入	入	還	計	失	計	鳩	備	未	以
			數	所	入	報	入	入	還	計	死	計	鳩	不	六	六
			伐	信	計	報	入	入	還	計	轉	計	鳩	不	六	六
			討	通	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			戰	一	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			(務業)備警	對	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			練訓鳩軍	百	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			所信通	通	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			數信通	信	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			數信通對	對	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			大	最	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			小	最	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			均	平	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			大	最	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			小	最	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			均	平	計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			摘		計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六
			要		計	報	入	入	還	計	除	計	鳩	不	六	六

- 三、飼育管理及衛生成績ノ概況
- 四、訓練成績ノ概況
- 五、研究調査ニ關スル概況
- 六、將來ニ關スル意見

0149

軍 鳩 名 簿

鳩 番 號	羽 色 (特 徴)		性	生 年 月 日	生 産 部 隊	用 役	保 管 部 隊	第 何 部 隊								
	1234							第 何 部 隊								
	灰 胡 麻 (額 刺 毛 右 脚 骨 柄)		雄	昭 20. 3. 10	陸 軍 通 信 學 校	函 定										
血 統	親 鳩 番 號	羽 色	生 年	記 録	祖 父 母 鳩 番 號	羽 色	生 年	記 録 (新)	曾 祖 父 母 鳩 番 號	羽 色	生 年	記 録 (新)				
	父	1035	灰	昭一七	400	祖父	567	灰	昭一四	500	曾祖父	31	灰	400		
					祖母	438	灰	昭一四	400	曾祖母	27	灰	500			
									曾祖父	12	灰	400				
									曾祖母	19	灰	400				
									曾祖父	23	灰胡	400				
									曾祖母	32	灰胡	300				
									曾祖父	11	灰胡	400				
									曾祖母	15	灰胡	400				
	母	1057	灰胡	昭一七	800	祖父	579	灰胡	昭一四	400	曾祖父	31	灰	400		
									曾祖母	27	灰	500				
									曾祖父	12	灰	400				
									曾祖母	19	灰	400				
									曾祖父	23	灰胡	400				
									曾祖母	32	灰胡	300				
									曾祖父	11	灰胡	400				
									曾祖母	15	灰胡	400				
履 歴																
蕃 殖 狀 況						訓 練 通 信 成 績				經 歴						
年 次	配 合 鳩		仔 鳩				訓 練 月 日	天 候	放 鳩 地	到 著 地	距 離 (新)	分 速 (米)	序 列	記 載 事 項		
	鳩 番 號 (生 年)	羽 色	鳩 番 號	羽 色	生 月 日	鳩 番 號									羽 色	生 月 日
昭 和 20 年									乙 地	甲 地	100	1000	1/100			
昭 和 21 年									丁 地	丙 地	200	876	2/50			
昭 和 22 年	1233 (昭 20)	灰 胡	1880	灰 胡	3. 10	3021	灰 胡	6. 15	3. 1	晴	戊 地	丙 地	300	955	1/30	
			1881	灰 胡	3. 11	3022	灰 胡	6. 16								
			2001	灰 胡	5. 1											
			2002	灰 胡	5. 2											
昭 和 年																
昭 和 年																
備 考	1 血統欄中祖父及曾祖母欄へ通常種鳩ノミニ記入スルモノトス 2 検査成績区分、資格甲ハ優秀、乙ハ普通、丙ハ不良、榮養甲ハ優秀(堅肥)乙ハ普通、丙ハ不良(過肥嗜)能力甲ハ優秀、乙ハ普通、丙ハ不良トス 3 訓練通信成績欄ニハ毎年其ノ年度ノ鳩ノ能力ヲ知り得ベキ代表的ノモノヲ記載シ、又序列ハ参加鳩數ヲ分母トシテ現ハスモノトス 4 本名簿ニハ生年、放鳩地、到着地ノ外ハ總テ横書トシ数字ハ生年ヲ除ク外算用数字ヲ用フルモノトス															

17.5 種

0510

經 歷 補 助 欄

(軍 籍 名 簿 裏 面)

著 産 状 況		訓 練 通 信 成 績						經 歴							
年 次	配 合 鳩		仔 鳩				訓 練 月 日	天 候	放 鳩 地	到 著 地	取 離 ( 斤 )	分 速 ( 米 )	序 列	記 載 事 項	育 成 状 況、異 動、戦 役 演 習 参 加、檢 査 ( 資 格、采 養 能 力 ) ノ 成 績、著 患、失 踪、歸 還 等 ノ 事 實 ヲ 記 ス ル モ ノ ト ス
	鳩 番 號 ( 生 年 )	羽 色	鳩 番 號	羽 色	生 月 日	鳩 番 號									
昭 和 年															
昭 和 年															
昭 和 年															
昭 和 年															
摘 要															

1510

附録第一

脚環標識並裝著要領

脚環ニ刻印スヘキ記號ノ順序左ノ如シ

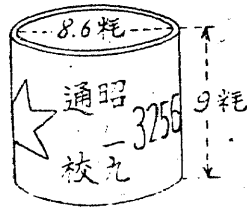
星章

生産部隊號

生年號

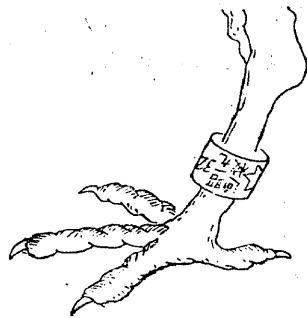
軍鳩番號

脚環



陸軍通信學校生産昭和十九  
 年生第三二五六號軍鳩金屬  
 製無繼目環トス

左脚

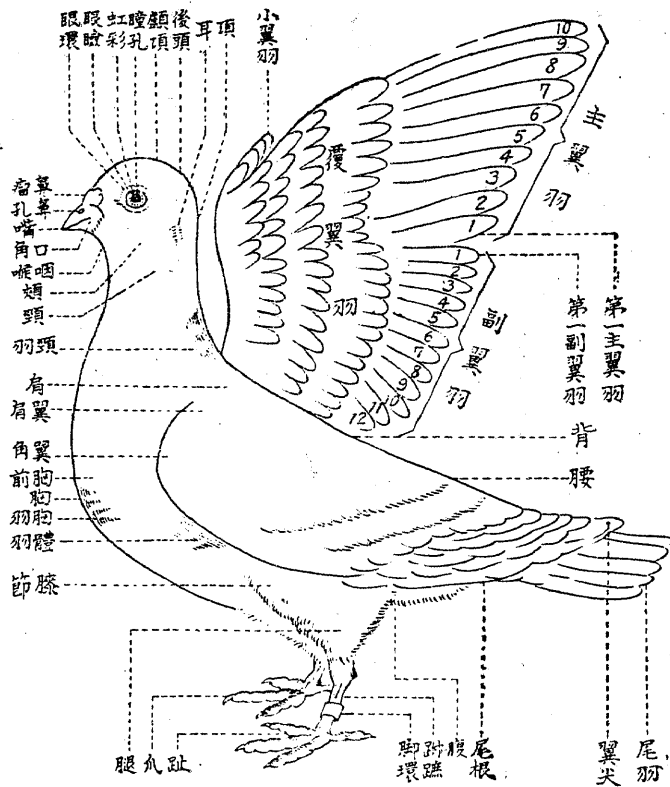


九

0152

附錄第一

鳩體外貌名稱





附録 第三

軍鳩羽色記載例

一 灰

(一) 灰 體羽、翼羽共ニ灰色ヲ呈シ覆翼羽ノ末端ニ  
黒色ノ劃線二、或ハ三條アル羽色ヲ謂フ

(二) 灰胡麻 灰ニシテ黒色ノ鱗狀斑  
點ヲ有スルモノヲ謂フ

(三) 銀灰 灰ニシテ銀色ヲ交ヘタル羽色ヲ謂フ而シテ此ノ  
羽色ハ覆翼羽ノ端末ニ黒線ヲ有セサルモノトス

二 黒

(一) 黒 體羽、翼羽共ニ黒色  
ヲ呈スルモノヲ謂フ

(二) 黒胡麻 黒ニシテ僅ニ灰色ノ鱗狀  
斑點ヲ有スルモノヲ謂フ

三 栗

(一) 栗 體羽、翼羽共ニ褐色ヲ呈シ長羽ノ末端ニ至ルニ從ヒ白色ヲ帶ヒ  
覆翼羽ノ末端ニ濃褐色ノ劃線二或ハ三條ヲ有スルモノヲ謂フ

(二) 栗胡麻 栗ニシテ灰白色ノ鱗狀斑  
點ヲ有スルモノヲ謂フ

(三) 紅栗 栗ノ濃色ナルモノニシテ稍  
赤色ヲ帶ヒタルモノヲ謂フ

(四) 乳栗 栗ノ淡色ナルモノニシテ乳  
褐色ヲ呈スルモノヲ謂フ

(五) 灰栗 栗ニシテ灰色ヲ帶ヒ覆翼羽ノ末端ニ褐色ノ鮮  
明ナル劃線二或ハ三條ヲ有スルモノヲ謂フ

0154

四 雑斑、三色以上ノ羽色相  
混セルモノヲ謂フ

五 飛白、黒色羽ト白色羽ト  
混セルモノヲ謂フ

一一

附録第四

軍鳩特徴記載例

- 一 白 局部ノ白  
斑ヲ謂フ
  - 二 羽白 白色ノ翼羽ヲ有スルモノヲ謂フ而シテ其程度ニ從ヒ兩羽  
白、兩羽何枚白、左、右片羽白、左、右羽何枚白等ト稱ス
  - 三 尾白 白色ノ尾羽ヲ有スルモノヲ謂フ而シテ其ノ程  
度ニ從ヒ全尾白、左右何枚尾白等ト稱ス
  - 四 刺毛 體羽中ニ白色ノ小羽毛ヲ混スルモノヲ謂フ而シテ其ノ部  
位ニ依リ全身刺毛、趾刺毛、額刺毛、後頭刺毛等ト稱ス
  - 五 脚羽及趾羽 附趾及趾ニ羽毛ノ  
生セルモノヲ謂フ
  - 六 逆毛 體羽ノ一部ニ於テ羽毛ノ逆生スルモノヲ謂フ而シテ  
其ノ部位ニ依リ頭逆毛、頸逆毛、胸逆毛等ト稱ス
- 右ノ外傷ニ起因スル癢痕、脱毛痕ニシテ特徴トナルヘキモノハ記載スルモノトス

附録第五

軍鳩損徴記載例

- 一 角膜翳 眼ノ角膜面ニ受ケタ  
ル損傷ノ癢痕ヲ謂フ
- 二 失明 盲眼ヲ謂フ其ノ一眼ヲ失ヒタ  
ルモノヲ左、右眼失明ト稱ス
- 三 交叉嘴 上下嘴ノ交叉セ  
ルモノヲ謂フ
- 四 過長嘴 一嘴ノ過長ナ  
ルモノヲ謂フ
- 五 垂翼 翼病ノ爲主翼羽ノ下  
垂セルモノヲ謂フ
- 六 趾缺損 損傷ノ爲趾ヲ失ヒ  
タルモノヲ謂フ
- 七 關節腫 翼病又ハ脚病ノ爲關節  
ノ腫レタルモノヲ謂フ
- 八 骨瘤 骨折等ノ爲治療後骨ノ一  
部隆起セルモノヲ謂フ